

【解説】これは、今これを書いている時点で、昨日出たばかりのRT (Russia Today) の記事である。これを「ヨーロッパ市民団体の気象操作糾弾と EU」(5/6)「ウクライナ紛争：何が真相か？」(5/18)「ケムトレイルは有機農作物を殺し・・・」(5/27) などと関連させて読むならば、現在の世界情勢がかなりよくわかってくるであろう。

ビルダーバーグ会議の本当の議題は、核兵器、ユーロ・ナシヨナリズム、バラク・オバマ——最新リーク

公表時：May 31, 2014

編集時：June 1, 2014



高名な“ビルダーバーグ・クラブ”会議の公表されたアジェンダは真実ではない、とこの秘密の世界政府グループの長年のウォッチャー、RT 番組のホスト Daniel Estulin は主張する。彼は、コペンハーゲンで行われる今年の集会の本当のアジェンダを、入手したと言っている。

あるインサイダーが、予定されているビルダーバーグ会議の討論項目のリストを、先週、この研究熱心なジャーナリストに洩らした。このリストには9つの項目があり、その7つを彼は公表した——

1. 核外交と現在計画中のイランとの取引

このクラブはずっと前から、ロシア、中国、イランの同盟の可能性を警戒していた。このイスラム共和国から、その核開発計画をめぐって、西側の圧力を取りのける取引をすれば、この可能性は低くなるだろう。

2. ロシアと中国の間のガス取引

これはウクライナの深刻な政治危機の最中にやってきた。それはロシアのヨーロッパ各国への天然ガス供給を危険にさらすことになる。モスクワは北京と長期契約を結ぶことによって、そのガス取引に多様性のあるところを見せた。潜在的には、中国は、ロシアの主たるエネルギー取引パートナーとして、EU に取って代わるかもしれない。これは、ロシアと、キエフの影響力を、輸送ガス・パイプラインをコントロールして孤立させようとするワシントンの努力を挫くことによって、モスクワのウクライナにおける立場を強めることになる。



(オランダの) ベアトリックス王女はカメラに向かって微笑もうとするが、うまくいかない。



3. ヨーロッパにおけるナショナリズム気運の高まり

このアジェンダは、ナショナリズム傾向を際立たせた、先日のヨーロッパ議会選挙より前に形成された。EUに懐疑的な政党が、イギリスからギリシャ、ハンガリーに至るまでヨーロッパ民衆の心を掴みつつあり、連合の足並みに打撃を与えている。ナショナリズムを動機として分れたヨーロッパは、グローバリゼーションを当然のこととは考えなくなるだろう。

http://www.youtube.com/watch?v=2I_LspnLZAI&feature=player_embedded

(“F*ck NWO!” Protesters vs. Bilderberg 「ビルダーバーグ会議に向かって“NWO 糞食らえ”と叫ぶ人たち」の動画)

4. EUのインターネット・プライバシー規制

エドワード・スノーデンが、アメリカのNSA（米安全保障局）とその同盟部局による電子監視能力のスケールを暴露したことによって、プライバシーを求める人々からの抗議に、世界的に火がついた。ヨーロッパの政治家たちは、人々の通信を嗅ぎ回り、データ収集がより困難になり得ることから保護される民衆の要求を、無視することはできない。

5. サイバー戦争と、インターネットの自由に対するその潜在的影響

生活のあらゆる側面でのインターネット依存が高まるにつれて、サイバー攻撃の破壊的潜在性が急速に高まっている。しかし国家をスポンサーとするハッカー攻撃の脅威は、幾つかの政府がインターネット抑圧の口実を用いるかも知れず、これは安全保障のための媒体としてのその役割を破壊することになる。

6. ウクライナからシリア、オバマの対外政策まで

オバマ大統領を批判する人々は、アメリカの海外でのリーダーシップを裏切ったとして彼を非難し、その一例として、シリアと最近のウクライナでの、アメリカの利権を守れなかったことをあげる。オバマの新しく公言された方針は、軍事力依存を縮小し、外交と集団的行動を用いることを呼びかけている。ビルダーバーグ・メンバーたちは、この政策を押し潰すかどうかを議論するであろう。

7. 気象変化

これはデンマークのビルダーバーグ会議だけでなく、多くの高位集団の討議の日常的な議題になっている。グローバル・エリートを疑っている人々は、気象変化とは、いくつかの国家の人為的な脱産業化の体のいい言い換えだとし、その目的は、グローバル経済を、経済成長の潜在的な中心地の犠牲において、超国家的企業のコントロール下に置くことにあ

ると考えている。

「ビルダーバーグ・グループ」は60年前から存在するクラブであり、世界の最も影響力ある個人、政治家、官吏、実業家、学者、それにヨーロッパの王家の何人かが定期的に集まって、地球規模の政策問題を討議している。これに批判的な人々は、彼らは選挙によらない影の政府であり、世界の支配者のつもりで活動している者たちだとして非難している。彼らは閉ざされたドアの向こうで、何十億の人々に影響を与える決定を下し、一般民衆の必要や欲求を顧慮することはない。

明らかにこうした非難を払いのける賭けに出たビルダーバーグは、今回はその公的なアジェンダ（リンク）を公開した。今年の会議の12の議題の中には、「中東の新しい構築計画」「ウクライナ」「民主主義の将来と中産階級のわな」などが謳われている。



(警官の訊問を受ける“アノニマス”)



(我々の青い空を返せ！)